

み 巳年生まれの人口（平成25年1月1日現在の概算値）

平成25年を迎えるに当たり、京都市における巳年生まれ（年男・年女）の人口を推計しましたので、その概要を御紹介します。

1 巳年生まれの人口

平成25年1月1日現在の京都市の巳年生まれの人口（概算値（注））は11万8260人で、総人口147.2万人に占める割合は8.0%となっています。男性は5万5940人で、男性の総人口69.9万人に占める割合は8.0%、女性は6万2320人で、女性の総人口77.3万人に占める割合は8.1%となり、女性の方が6380人多くなっています。

巳年生まれ人口を出生年別にみますと、昭和40年生まれが最も多く2万170人、次いで昭和16年生まれが2万130人、昭和52年生まれが1万9830人となっています。

男女別にみますと、平成13年生まれと平成元年（昭和64年）生まれでは男性が多く、その他の出生年では女性が多くなっています。また、年代が上がるにつれて、女性の割合が高くなる傾向がみられます。（図-1参照）

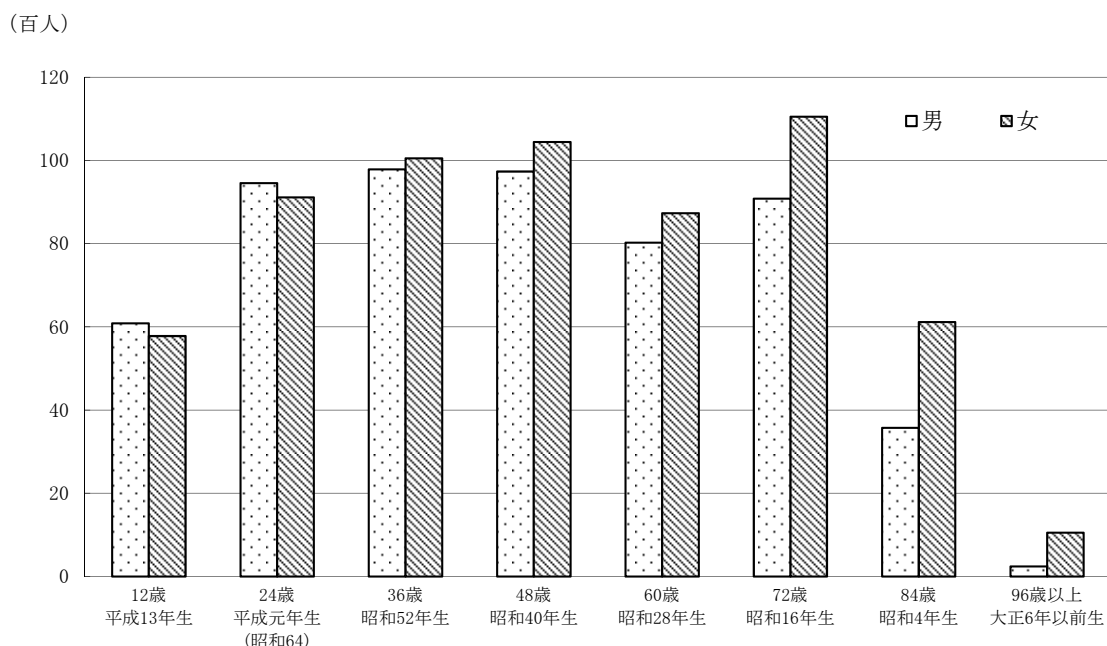
表-1 巳年生まれの人口（京都市）

生まれた年	年齢（誕生日を迎えたとき）	男女計		男		女		性比
		人数（人）	割合（%）	人数（人）	割合（%）	人数（人）	割合（%）	
総数		118,260	100.0	55,940	100.0	62,320	100.0	89.8
平成13年	12歳	11,870	10.0	6,080	10.9	5,780	9.3	105.2
平成元年 （昭和64年）	24歳	18,560	15.7	9,450	16.9	9,110	14.6	103.7
昭和52年	36歳	19,830	16.8	9,780	17.5	10,050	16.1	97.3
昭和40年	48歳	20,170	17.1	9,730	17.4	10,440	16.8	93.2
昭和28年	60歳	16,740	14.2	8,020	14.3	8,730	14.0	91.9
昭和16年	72歳	20,130	17.0	9,080	16.2	11,050	17.7	82.2
昭和4年	84歳	9,680	8.2	3,570	6.4	6,110	9.8	58.4
大正6年以前	96歳以上	1,290	1.1	240	0.4	1,050	1.7	22.9

（注）「概算値」について

この資料は、平成24年12月1日現在の推計人口などを基に、平成25年1月1日現在の人口を推計して作成しています。このため、平成25年1月中旬に公表予定の1月1日現在の推計人口とは結果が異なる場合があります。また、各表の数値を10人の単位で四捨五入していますので、内訳の合計が総数に一致しない場合があります。

図-1 男女別巳年生まれの人口（京都市）



2 行政区別にみた巳年生まれの人口

巳年生まれの人口を行政区別にみますと、人口が最も多い伏見区が2万2570人で最も多く、次いで右京区(1万6470人)、左京区(1万3810人)と続き、区の人口の多い順となっています。また、男女別の人口をみますと、すべての区で女性が男性より多くなっています。

区の総人口に占める割合は、左京区及び東山区が8.2%で最も高く、北区及び下京区が7.9%で最も低くなっています。男女別にみますと、男性では左京区及び東山区が8.3%で最も高く、下京区が7.8%で最も低くなっています。女性では、南区及び右京区が8.2%で最も高く、北区が7.8%で最も低くなっています。

表－2 行政区別の巳年生まれの人口

行政区	人口(人)			各区総人口に占める割合(%)		
	男女計	男	女	男女計	男	女
京都市	118,260	55,940	62,320	8.0	8.0	8.1
北区	9,510	4,580	4,930	7.9	8.0	7.8
上京区	6,730	3,150	3,580	8.1	8.2	8.0
左京区	13,810	6,810	7,010	8.2	8.3	8.1
中京区	8,610	3,950	4,660	8.1	8.0	8.1
東山区	3,250	1,400	1,850	8.2	8.3	8.0
山科区	10,760	5,070	5,700	8.0	7.9	8.0
下京区	6,360	2,880	3,480	7.9	7.8	8.1
南区	7,920	3,820	4,100	8.0	7.7	8.2
右京区	16,470	7,710	8,750	8.1	8.0	8.2
西京区	12,270	5,870	6,400	8.1	8.1	8.0
伏見区	22,570	10,700	11,870	8.0	7.9	8.0

3 十二支別の人口

京都市の人口を十二支別にみますと、子(ね)年生まれの13万50人が最も多く、丑(うし)年生まれの12万9520人、亥(い)年生まれの12万7000人が続き、巳年生まれは9番目となっています。上位3つの干支の生まれは、昭和2年から24年にかけての第1次ベビーブーム、昭和46年から49年にかけての第2次ベビーブームの世代に当たります。

表－3 十二支別人口

十二支別	人口(人)	総人口に占める割合(%)	人口順位	十二支別	人口(人)	総人口に占める割合(%)	人口順位
子(ね)	130,050	8.8	1	午(うま)	115,440	7.8	12
丑(うし)	129,520	8.8	2	未(ひつじ)	121,740	8.3	8
寅(とら)	125,310	8.5	5	申(さる)	121,960	8.3	7
卯(う)	122,230	8.3	6	酉(とり)	115,790	7.9	11
辰(たつ)	126,870	8.6	4	戌(いぬ)	117,930	8.0	10
巳(み)	118,260	8.0	9	亥(い)	127,000	8.6	3